

効率的な同時学習で、実践的なスキルを習得

Microsoft® Office Specialist (MOS) 講座 ビジネス統計スペシャリスト講座 G検定 (ジェネラリスト検定) 講座

担当スクール **資格の大原**

試験概要

受験資格	全国合格率 [G検定]
制限 なし	75.03% (2024年 第5回)

募集要項

※開講時期・開講期間・受講料・受講形態は変更になる場合があります。詳細は「神大で資格」ホームページでご確認ください。

神大で資格ホームページ

申込・講義日程・ガイダンスはこちら▶

講義日程を必ずご確認ください



講座名	コース名	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料※教材費込	
						基本	一般
Microsoft® Office Specialist (MOS)	Word	8月	Webライブ	3月11日(火)~8月4日(月)	8月	18,000円	21,500円
Microsoft® Office Specialist (MOS)	Excel		Webライブ	3月11日(火)~7月22日(火)	8月	18,000円	21,500円
Microsoft® Office Specialist (MOS)	PowerPoint	9月	Webライブ	3月11日(火)~8月18日(月)	9月	18,000円	21,500円
ビジネス統計スペシャリスト	Excel分析ベーシック		Webライブ	3月11日(火)~8月5日(火)	9月	24,400円	27,500円
Microsoft® Office Specialist (MOS)	Word	26年2月	Webライブ	11月4日(火)~26年1月	26年2月~3月	18,000円	21,500円
Microsoft® Office Specialist (MOS)	Excel		Webライブ	11月4日(火)~26年1月	26年2月~3月	18,000円	21,500円
Microsoft® Office Specialist (MOS)	PowerPoint		Webライブ	11月4日(火)~26年1月	26年2月~3月	18,000円	21,500円
G検定 (ジェネラリスト検定)			Webライブ	11月4日(火)~26年2月4日(火)	26年2月~3月	44,000円	48,400円

申込方法はP.28へ

学習スケジュール(開講期間)	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
※ビジネス統計スペシャリスト講座の受講にはExcelの基礎知識が必要です。		夏期集中 Word・Excel・統計	Power Point					春期集中 Word・Excel・G検定	

重要

MOS(educast対応)講座で使用する模擬試験プログラムの起動には右記の環境が必要です。Web受講申込前に必ずご自身のパソコン・ネット環境をご確認ください。

■対応アプリケーションソフト

Microsoft365 日本語版

※異なるバージョンのOfficeが同時にインストールされていると、正しく動作しない可能性があります。
※ストアアプリ版では動作しません。

■対応OS

Windows11 日本語版

Windows10 日本語版 (バージョン22H2)

※Windows11Sモード、Windows10Sモードでは動作しません。
※Macでは、模擬試験プログラムが動作しません。

同時学習で3科目以上の取得がおすすめです!

同時学習により効率よく学習することで理解が深まり、高い効果を得ることができます。

Word・Excel・PowerPointは共通機能が多く、同時学習することでより理解が深まり、高い効果を得ることができます。神大で資格のMOS講座は、3科目の講座を同時期に学習できるカリキュラム設計です。また、夏期集中ではビジネス統計スペシャリスト、春期集中ではG検定との同時学習もできるためパソコンスキルを身につけながらExcelの分析力を高めることや、AI知識を深めることもできます。自身のペースで1科目ずつ学習したい場合はWordからの受講をおすすめします。

複数科目を同時学習し、
同時合格を目指しましょう!

夏期集中・春期集中コースなら短期間で効率的な資格取得ができます!



短期取得!

夏期集中・春期集中コースは、効率良く学習して短期間で同時合格が目指せるカリキュラムになっています。休暇期間中のコースでMOSを学習すると、休み明けの正課授業ですぐに学習内容を活用でき、さらに効果的です。

※Microsoft、Windows、Excel、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft® Office Specialist (MOS) 〈Word〉〈Excel〉〈PowerPoint〉

MOSで身につく「実務処理能力」は社会人の基礎的なスキルとして不可欠です。

パソコン操作は日常業務に不可欠で、どの企業への就職を考えていても求められる、社会人の基礎的なスキルです。MOSの資格を持っていれば「パソコンの基本的な知識や経験があり、業務でも使用できる」というスキルを客観的に証明でき、また「自ら学習をおこない、目標に向けて努力する人材である」と企業へアピールできる材料ともなります。



「使える」から
「使いこなせる」に
なろう!

パソコンスキルは、自己流で「使える」と、
習得した適切な機能を「使いこなせる」とでは意味が異なります。

- MOS講座では実際にアプリケーションを操作する実技を学習するため、実践的なスキルが自然と身につきます!
- ビジネス統計スペシャリスト講座ではMOSで身につけたスキルを活用し、「考える力」をつけることができます。
- さらにG検定講座ではAIの知識や活用リテラシーなど、これからの社会に必要なスキルを学べます。

MOSで身につく「実務処理能力」に

ビジネス統計スペシャリストとG検定で身につく「問題解決力」のスキルを組み合わせましょう!

実務処理能力

MOS

実際の仕事(実務)を限られた時間内で
完了(処理)するための力

+

問題解決力

ビジネス統計スペシャリスト/G検定

今後の社会で必要とされる知識を身につけ
ビジネスを成功に導くための力

=

問題を解決するための
知識とスキルの
証明となります!

ビジネス統計スペシャリスト〈Excel分析ベーシック〉

今、注目の資格「ビジネス統計スペシャリスト」で「問題解決力」を養う

ビジネス統計スペシャリストは、データ分析の“実践”に重点を置き、身近に活用できるExcelを使用したデータ分析技能と、分析結果を正確に理解し、応用する能力を証明します。顧客管理や集客効果、購買動向など、ビジネスにおいて扱われるデータにはさまざまなものがあります。あらゆる数値をもとに分析し、正確な情報を得るための「データ分析力」はビジネス実務に必要なスキルです。そのため、企業はこのデータ分析力がより高い人材を求める傾向にあります。MOSとあわせて学生のうちに習得しておくことで、就職活動時だけでなく社会人になってからも自信を持って仕事に取り組むことができるようになります!



ヒット商品を作るためのアンケート調査では、顧客が求める項目の第1位は「価格」でした。では、その結果をもとに「コストを抑えて低価格な商品を作る」ことが本当に正しいのでしょうか?アンケート結果項目同士の関係性がわかるように、Excelでデータを分析してみましょう▶▶▶

●顧客アンケート結果項目の相関係数

	価格	機能性	耐久性	デザイン	ブランド
価格		0.22	0.16	0.66	-0.13
機能性			0.3	0.21	0.48
耐久性				0.16	0.24
デザイン					0.38
ブランド					

【参考資料】株式会社 オデッセイコミュニケーションズ「ビジネス統計スペシャリストとは」

アンケートの結果、「価格」と答えた顧客の多数が「デザイン」も重要であると考えていることが読み取れるようになりました。

顧客は「価格を抑えつつ、デザイン性のある商品」を求めており、ただコストを抑えただけでは商品は売れないことがわかりました。

Excelを活用し、分析結果を正確に理解し応用するといった「データ分析力」を使って、問題を解決していく力が身につきます。

G検定 (ジェネラリスト検定)

「実務処理能力」とAI分野の「問題解決力」の組み合わせで活躍の場がさらに広がる!

G検定(ジェネラリスト検定)はJDLA(日本ディープラーニング協会)が実施しているAI(人工知能)に関する資格です。AIが注目されている今、ディープラーニングや人工知能、機械学習の知識がある人材のニーズが高まっており、これからの時代に求められる資格です。MOSで身につけるパソコンスキルやビジネス統計スペシャリストで身につける分析スキルは、AIの領域と相性が良いため、あわせて学習をしておきたい資格となります。

文理、所属学部を問わず、これからの時代に必要となる資格です!

注目度急上昇! G検定受験者が増えています

デジタル人材育成への社会的機運が高まる中、G検定は「今後必要とされる領域」の知識の証明として企業からも注目されています。大学生の取得者はまだ少ないため、今が周囲と差をつけるチャンスです!

累計140,074人

受験者数
年々増加!

累計1,448人 2017年

2024年

【参考資料】一般社団法人日本ディープラーニング協会「G検定 受験者推移(累計)」
2024年11月25日 (https://www.jdla.org/certificate/general)

「AI分野の知識」を使い、パソコンスキルを駆使しながら問題を解決していく、社会において必要とされるDX人材としての力が身につきます。